



放課後連・東京 第5回実践講座

現在、障害のある子どもの放課後活動を支える国の制度・放課後等デイサービスは、全国で事業所1万か所、利用者17万人に達しています。しかし、さまざまな問題も噴出しています。子どもにビデオを見せているだけ。報酬を不正に請求する…。「不適切な運営があとを絶たない」「不正が相継ぐ」と、マスコミも報道しています。

そんな中、2018年度、「障害福祉サービス報酬の改定」が行なわれました。区市が子どもの判定をして、指標に該当する子どもが半分以上いるかないかで、事業所が「1」か「2」に区分されます。事業所の収入は、「区分1」で数%減少します（各種の加算を取れば、現状を維持する道も開かれる）。ところが、「区分2」では10数%も減少。事業所によっては存続が危うくなっています。

国は、「利潤を追求し、支援の質が低い事業所が増えている」ことを問題にしていました。今回の報酬改定では、「利潤の追求」とは無縁の事業所まで抑え込む、本末転倒なものになっています。

私たちは、こうした問題が起こっている今だからこそ、放課後活動にふさわしい実践を創り出して、その意味を確かめ合い、制度を改めていく運動の力にしていこうではありませんか。

講師は竹沢 清さん（愛知県・元ろう学校教師。著書は『子どもの真実に出会うとき』『教育実践は子ども発見』『子どもが見えてくる実践の記録』など）。実践記録の書き方をつうじて、子どもをどう理解するかなどを深く学び合います。事業所の職員や関係者の皆さん、ふるってご参加ください。

2018年 **10月28日（日）**
午前11時（受付開始10時30分）～午後4時
国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟3階・304室（小田急線「参宮橋」から徒歩7分）

講師 **竹沢 清**さん（愛知県・元ろう学校教師）

受講料 2000円（一般）、1800円（「放課後連・東京」加盟事業所の関係者）



●**申し込み方法** 10月20日（土）までに、電話またはファックス、メールで（お名前、連絡先、事業所名をお知らせください）。当日参加もできます。

●**実践記録を募集!** 実践記録を2本ほど募集します。ワードファイルでA4サイズ1~4ページで書いてください。10月6日（土）までに、必ずメールで（実践記録を添付して）ご提出ください（講師が事前に読んで、講義レジュメを作りますので、締め切り日を過ぎないように、ご協力ください）。

■主催 障害児放課後グループ連絡会・東京（放課後連・東京）

■問い合わせ・申し込み先 〒181-0001 三鷹市井の頭2-21-18 なかよし教室内 藤本
TEL 0422-43-8135 FAX 0422-24-9493 Email kyoushitsu@nponakayoshi.com

■実践記録提出先 〒187-0032 小平市小川町1-983 ゆうやけ子どもクラブ内 村岡

TEL・FAX 042-344-2448 E mail akanekai@ia8.itkeeper.ne.jp